

## 令和5年度 第2回八雲町総合開発委員会

### 【開催日時・場所】

令和6年3月22日（金） 午後1時30分～午後3時  
八雲町2階 第1・第2会議室

### 【出席者】

出席者：別添のとおり

### 【内 容】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ

本日はご多忙の中ご出席いただきありがとうございます。また、日頃より町行政の推進に対しご協力賜り心から厚く御礼申し上げます。

予算委員会も終わり4月から事業を進めることができ、本日はその事業についての説明をさせていただきます。また、青沼委員も様々なメディアにて取り上げられ積極的に活動されております木彫り熊についてですが、八雲の木彫り熊100周年ということで26日にはぴあ八雲に名古屋市の河村市長がお越しになり講演を行いますので、ぜひご参加ください。

予算については様々な事業がありますが、現状を簡単にお話しますと町の借金が減って貯金が増えております。これはふるさと納税事業によるもので、個人版ふるさと納税で34億円の寄附の他、企業版ふるさと納税による寄附もいただいて事業推進ができるものです。また、今会議では新庁舎の建築なども説明させていただきますので皆様の忌憚のない意見をどうぞよろしくお願い致します。

### 4 会長・副会長の選出について

立候補者なく事務局案にて選出

会 長：八雲町内会連絡協議会 大野 尚司 氏

副会長：熊石町内会連絡協議会 井口 啓吉 氏

#### 会長就任あいさつ

当会議は町にとって非常に大事な会議であります。任期中、私も一生懸命務めさせていただきますので、委員の皆様、何卒よろしくお願い致します。また、委員の皆様から積極的にご意見いただきながら協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

### 5 報告事項

#### (1)第2期八雲町総合計画 実施計画書（令和6年度～令和8年度）

事務局より説明（右門係長）

質疑なし

#### (2)令和6年度予算の概要について

事務局より説明（南川課長補佐）

質疑なし

### (3)新庁舎等建設事業について

事務局より説明（吉田主幹）

質疑なし

### (4)町の主要施策・事業について（自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進）

事務局より説明（中村係長）

#### 【小笠原委員】

数値的な指標があるのか確認したい。例えば事務が効率的になって、職員数の定数が 200 名から 150 名になるなどで人件費が削減、または、消耗品か何かが削減ができるなど、この事業に効果として数値的なものは持っているのか。

#### 【中村係長】

資料工程表の右側の欄に KPI（指標）があり、施策ごとに KPI を定めて進めていこうとするものがありますが、具体的に職員が何名減って業務ができるかなどの人やコスト、時間を短縮できるかということについては、計画上は定量的に持っているものではありません。

ただし、国が作っている自治体 DX の計画の中にある趣旨の部分に記載がありますが、職員の働き方を効率化することによってできた時間を本来行わなくてはいけない住民サービスにかけていけるもの。人のマンパワーを本来あるべきところにかけていけるよう、なるべく日常業務を効率化していく旨は記載されています。我々も人口が減っていく中で、職員の数も減っていくことは想定されるためなるべく日常業務を簡素化して住民サービスの質を低下させないように進めていくものであります。

#### 【小笠原委員】

KPI がどれだけ進んでいるかの評価だと思うので、私としても DX を進めるのは反対ではないのですが、高齢の方にはとっつきにくいと想定されるため、この必要性を示すためには、職員の人件費を削減できる。作業がこれだけ効率化に繋がるなど、明確な数値があったほうが町民の方々は受け取りやすく、取り組みやすいのかと思って質問させていただいた。数値化は難しいかも知れないが考えていただきたく意見させていただきました。

#### 【長谷部委員】

文書の電子化・電子決裁などは、情報公開と密接に関係のあるものであり、行政の意思決定過程を含め流れがあると思うがどのように考えているのか。

#### 【竹内総務課長】

情報公開と文書の電子化・電子決裁についてですが、情報公開については行政が保持している個人情報以外は原則公開するようになっているため、これが電子化になったと言ってこれまでの取り組みが変更になることはなく、これまで通り情報公開の条例に則ったやり方で公開していくという考え方になっている。

#### 【長谷部委員】

八雲町の条例において行政の意思決定過程まで公開することになっているのか。

#### 【竹内総務課長】

行政の意思決定過程については、これを公開することにより不都合が生じるというものについては公開しないものとなっている。

## 6 その他

### 【佐藤委員】

木彫り熊 100 周年として、はぴあ八雲での講演会、その後、東京での展示会を予定しているようですが、この 100 年を迎えて更に先の計画などがあるのか伺いたい。

また、このような機会により八雲町に訪れる方が増えると思うが、八雲は素晴らしい見どころのある町である。一例をあげるとミルクロードであるが、育成牧場に向かう看板などが雨風にたたかれて老朽して見づらい状況である。そこでもっと目立つ大きな看板を用意したら良いのではないか。

もう一点となるが、私も図書館で八雲町酪農 100 周年記念誌の冊子を見させていただいたが、大変素晴らしいものであった。

昭和 53 年に八雲町酪農記念講演（立岩に建立の碑文）「乳牛は八雲農民の母 酪農こそはこの町の誇りである」と刻まれた記念碑を合併前の八雲町農業協同組合が設置したものであり、遊楽部公園に移設されているが、40～50 年経過している。

遊楽部川の河口付近は野鳥の休息地として有名であり、野鳥の観察を目的に多くの人々が訪れ、そこには開拓移住者上陸の地碑がある。春日小学校前には樹齢 300 年のミズナラの樹があり、保存樹として指定されている。八雲には多くの保存樹があると思うが風化して倒れている状況もあるので、この春に一斉点検し、これからの歴史的な財産について補修や整備が必要と考えるがいかがか。

### 【教育長】

木彫り熊 100 周年の今後の動きですが、3 月 26 日が木彫り熊 100 周年の日ということでキックオフイベントとして名古屋市より河村市長にお越しいただき、徳川家と八雲の関わりということで、木彫り熊 100 周年を祝いながら皆様の思い出とともに徳川家との縁を町民の方により一層感じていただくということを考えています。

8 月 31 日、9 月 1 日にはメインイベントを持っていきたいと考えており、これは東京でも木彫り熊展を行ってくださった八雲町まちづくり応援大使でもある安藤夏樹さんの属する東京 903 会で、熊さんの日として 9 月 3 日にイベントを行うことから共同で盛り上げていきたいという狙いである。そこでは、木彫り熊 100 周年を思い返せるような方々でイベントを盛り上げていきたいと考えている。他には記憶に刻むというためにテレビ番組で制作いただいて学校や資料館などで木彫り熊や徳川家との関わりを見ることができるようにして残していきたいと考えている。また、それまでに向けては企画展や町の中にある木彫り熊を見させていただき由来を伝えながら町民の方々には木彫り熊と接点をもっていただきながら 100 周年を迎えていきたいと思っています。

文学碑や町の歴史のお話がありましたが、昨日もありましたが小学 3・4 年生で町の事を学ぶという時間を作るとともに副読本を作り直し、学校でも町のことを学べるようにしているとともに、社会教育でも町の自然、歴史を学べるよう専門の方々に協力をいただき町のことをもっと知っていただけるような取り組みを今後も充実させていきたいと考えております。

### 【竹内課長】

ミルクロードの案内板については、担当部署である建設課と話をしながら現状を確認しながら進めたい。

### 【川口課長】

石碑については担当部署と状態を確認し、補修が必要か判断していきたい。

### 【長谷部委員】

総合病院の東棟のトイレの改修についてですが、東棟とは事務室の棟であっているか。

**【長谷川庶務課長】**

その通りとなります。

**【長谷部委員】**

東棟はリハビリの方がよく使用されると思うが、現在は狭くて非常に使いづらい状況である。改修の程、よろしくお願いします。

**【長谷部委員】**

有害獣駆除やハンターの費用が同額となっておりますが、熊は行政区関係なく動いてくるため、これから有害獣駆除は非常に需要の高い事業であると思うため、この辺りを機能的に考えていく必要があると思います。

また、デジタル化のところではありますが、マイナ保険証を進めていこうという話になっていると思うが、私自身も経験しましたが再診した際にこれまで保険証の確認が月 1 回だったが、マイナ保険証だと受診の度に機械を通さなくてはいけなく、機械への導線も悪い。是非、改善について今後検討いただくようお願いしたいと思っております。意見ですので答弁は不要でございます。

**【近藤委員】**

木彫り熊 100 周年事業ということだが、昨日、商工観光労政課と有志団体が集まり実行委員会を立ち上げるということとなった。参加の方からは町の動きが遅いという声が多くあがった。教育委員会と商工観光労政課との連携がとれていないように感じた。商工観光労政課からの観光協会への補助が 100 万円しかない状況であり、大々的なイベントを行うのに 100 万円では何ができるのかという話になった。例えばのぼり 1 本立てるのに 3,000~4,000 円かかり 100 本立てたら 30 万~40 万円になってしまう。教育委員会の予算で盛り上げようと考えていると思うが、商工観光労政課としての予算は 0 円であり、できれば商工観光労政課の予算も増やしてほしい。私としても商工会の若い人材がやる気になり話を盛り上げていますので期待しており、町からも支援して欲しい。

**【岩村町長】**

予算は町から観光協会への補助であり、その額の中で取り組まれていると考えている。木彫り熊を盛り上げることは非常に大事であるが、これは開拓の方たちの苦労を私たちが学びながら前に進もうというものであると考えている。予算議決されたばかりであり、予算的な支援は非常に難しいということでご理解いただきたい。

**【稗田委員】**

公文章の保存期間の管理についてですが、デジタル化した際に保存期間は長くなるのか。

**【中村係長】**

文書の保存方法については、現在の状況に合わせ多少の変更は考えていますが、文書の保存期間については変えることは考えていません。

**【稗田委員】**

地元でも八雲の自然を体験する様々な取り組みが始まっている状況である。八雲でも良い場所は所々あるが、そのような場所がうっかりすると河川工事などで損なわれてしまう状況である。ある程度の選定をしておいて残るような取り組みをして欲しい。

水産資源のことでありますが、現在、鮭がとれなくなっている。私は遊楽部川で鮭の撮影をずっと行ってきたが、泥水がでるようになった。つまり川底に砂が溜まるようになってから鮭がどんどんいなくなった。海水温よりも産卵する場所がなくなった。つまり自然再生産の場所がなくなった。ただ再生産の場所の復

元は可能であり泥水がでないような取り組みをしていけば自然再生産の仕組みが蘇り鮭資源も増える。そのような方向性を話し合う場として分科会のような場があれば良いと思う。水産として一括りになり、ほとんど事業ばかりで現場の環境をどうするのかという検討がされていないように感じる。川をよくすることは磯焼け解消にもつながる。特に熊石は岩礁地帯で昆布や岩礁に生息する多様な魚など水産資源を増やすことにもなるので、そういう話し合いをする分科会などがあればいい。

害獣の話だがヒグマに対する対応の仕方ですが、これもそういう地元の目線で話ができる場所が必要だと思う。

#### 【岩村町長】

ヒグマについては、八雲町だけでなく北海道も力を入れているので渡島町村会、桧山町村会と話し合いをしながら進めていく。稗田委員のおっしゃられた八雲単独での協議の場を設けるに至っていないということをご理解いただきたい。

鮭については、桧山の漁業者の方と話しをしましたが、これは八雲町の川だけではなく、全体的にとれていない状況で昨年の檜山地域はほとんど取れていない。川の影響もあるかも知れないが、渡島管内さけ・ます増殖事業協会と連携して北海道全体で、専門家も交えて話し合いもしているので、町というよりは増殖事業協会、漁協、漁業者が話し合いをしていく方向だろうと考えている。

#### 【小川委員】

稗田委員がおっしゃてるのはサケが遡上しない原因が河川工事などで長年の間で自然が破壊されてきていると、それが原因で鮭がいなくなっていると話されていると思う。

去年は温暖化の問題もあり、町長がおっしゃるとおり全道・全国で鮭が取れないという問題になってきている。おっしゃっている遊楽部川や砂蘭部川の河川環境の問題なので土建などがかわる分野で注意された話である。

#### 【町長】

このような話は町単独ではなく、北海道や増協、漁連、漁協などで意見交換していくべきだろう。

また、自然の保護区域については町としても考えていき、以前よりご意見いただいている音名川の件もコンサルをかけて検討しているところである。

## 7 閉会